

こんな時どうするの？ (Q & A)

♣ 学生支援システム[My TG]について

Q：[My TG]へのログインID、パスワードって？

A：IDは学生番号(7桁)の前に半角小文字「s」を加えたものです。(s 学生番号)

パスワードについては入学時の初期値は、生年月日(西暦を使用した8桁)に学生番号(7桁)を加え、97で割った計算結果の整数部分6ケタの前に半角小文字「tg」を付けたものです。

ログイン後は速やかにパスワードを任意のパスワード(8桁以上の英数字)に変更をしてください。また、各キャンパス設置の「自動証明書発行機」から証明書・申請書を発行する際にはこの同一のパスワードが必要です。

Q：[My TG]へのログインパスワードを忘れてしまいました。

A：連続して5回ログインに失敗した場合には、そのアカウントは一時的にロックされます。約30分後に再度ログインが可能となりますが、パスワードを忘れた場合には、各キャンパス「情報処理センター」(泉キャンパス：5号館3階、土樋キャンパス：8号館1階)に学生証持参の上、相談してください。

Q：[My TG]の「メール通知設定」って必ず設定しないとダメですか？

A：一般的な講義連絡、休講連絡、窓口からのお知らせ・呼び出し連絡等が確認できるものです。必ず設定をしてください。

※迷惑アドレス設定等が原因で登録が完了しない事例があります。また、アドレスが変更になった場合には速やかに設定を更新してください。

Q：引越したばかりで、インターネット環境がありません。

A：各キャンパスの「情報処理センター」を利用して必要な操作をしてください。また、なるべく早い段階でのインターネット環境の整備をお奨めします。

♣ [My TG]からの履修登録について

Q：スマートフォンからの履修登録はできますか？

A：できません。動作保証の対象外ですので、スマートフォンからは参照する目的のみで使用してください。登録作業の場合にはPC端末を利用してください。

Q：希望する授業科目の履修登録をしたつもりでしたが、登録されていませんでした。

A：履修登録及び修正登録の各期間を過ぎた場合の相談については、一切受けられません。機械的・システム的なエラーはこれまでも発生しておらず、学生自身による操作ミス、特にスマートフォン操作による履修登録作業が大半の原因です。履修登録が完了した場合には必ず「履修登録確認通知書」をファイル保管もしくは紙出力による保管をすることと、【My TG】のMy時間割をこまめに確認することを習慣としてください。

※【My TG】は30分間操作が無い場合にはセッションが切断されます。その場合にはログイン画面からの操作を再度行い、直前までの作業が反映されているか必ず確認をしてください。

登録期間中(履修登録、修正登録)にスマートフォンによる画面スクロールなどの操作時に□ボタンを触る又は押すなどの動作により、一旦履修登録した授業科目が削除されてしまう現象が確認されております。登録内容確認並びに授業時間表を確認する際には十分注意してください。

Q：年間履修上限単位って何ですか？

A：各学年で1年間に履修登録できる単位数に一定の定義・設定することは義務づけられています。講義科目1科目あたり、1時間(正確には90分)の授業に対し、2時間の予習、2時間の復習が必要であることを根拠に単位数として制限をしております。そのため、安易に多くの科目を履修してひとつひとつの科目の学修時間が少なくなることを防ぐこととしています。

Q：履修単位と修得単位の違いがわかりません。

A：履修単位とは履修登録をした科目の単位であり、修得単位とは履修登録した科目の成績評価が60点以上の合格点により、修得できた総単位数です。進級・卒業に必要な単位だけではなく、資格科目のように進級・卒業に必要なではない科目の単位数も含まれています。

Q：後期修正登録って？

A：前期に修得した単位修得状況等を考慮し、後期開講科目を修正登録するものです。59点以下の評価により修得できなかった単位相当分の科目を新たに追加できるものではありませんので注意して下さい。

※入学年度によってはこの後期修正登録ができない場合があります。

Q：GPA (Grade Point Average)とGP (Grade Point) って？

A：GPAとは各授業科目の成績から特定の計算式で成績評価の平均点を算出するものであり、本学も2016(平成28)年度から成績評価指標として取り入れているもので、自分の成績の全体像を示す値として使うことができます。なお、GPAのデータは学科ごとに公開を予定しています。また、GPとは成績評価結果を数字(100点満点)表記ではなく、アルファベットで段階表記する方法です。(本学の場合は「成績通知書」への表記は数字の評価とGP評価の両方を表記することにしています。ただし、このGPAが他の人に比べて低い(下位4分の1以下)場合には、注意を受けることになります。2015(平成27)年度以前に入学した学生は参考程度に利用して下さい。)

Q：履修辞退申請って？

A：2016(平成28)年度入学の1年生から、GPA (Grade point Average)による成績評価制度を導入しています。前述のとおり授業科目の評価は、100点満点による素点で評価をしておりますが、加えてGP (Grade Point)での評価も「成績通知書」に表記することにしました。

授業放棄科目や修得困難が予測される授業科目の評価が大きく結果に影響することから、その授業科目の履修登録を辞退することを可能にしたものです。ただし、単位を取れそうにないからといって安易に辞退すると、進級や卒業に必要な単位数を満たせなくなる危険があるので注意してください。2015(平成27)年度以前に入学した学生はこの履修辞退申請の対象ではありません。

Q：配付された「授業時間表」の旧課程って？

A：入学年度毎に各学科の理念・目的がどのような授業科目の修得を学生に期待するかを定め、その内容が変更されることがあります。そのため、授業時間割表等では最新の学科課程(カリキュラム)と、1つ以上前の学科課程を便宜上総称した「旧課程」も表記しています。自分の入学年度の学科課程を良く理解して諸手続きを行ってください。

Q：配付された「授業時間表」に履修希望科目が表記されていますが、【My TG】の履修登録可能画面にはその科目がありません。

A：考えられることは①「既に修得している科目」である、②学科課程の「対象学年が異なる科目」である、③所属するグループによる受講者は制限されている科目やその他の事情により受講者が制限されている科目、④履修登録をする前に抽選が必要であった科目、⑤前年度に予備登録が必要であった科目であることが考えられます。その内どれにも該当しない場合には各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。

◆授業全般について

Q：教室番号表示は何かルールがあるのでしょうか？

A：一定のルールがあります。数字一番左側を号館(建物の名称、例：2号館の場合は“2”)、数字真中は階数(例：2階の場合は“2”)、右側は階毎の連番です。従って、教室番号が222教室は2号館の2階にある2番教室であることを意味します。

Q：授業休講の確認はどやってするのでしょうか？

A：【My TG】から確認してください。あわせて各キャンパスにある休講掲示板でも確認してください。

Q：体調不良により、授業を欠席してしまいました。どうしたら良いのでしょうか？

A：医療機関での診察を受け速やかな回復に努め、医療機関の発行する書類(領収書または処方説明等)持参の上、各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。なお、診察日以外の欠席は認められません。(複数日にわたっての欠席の場合には、その期間療養が必要である旨を記した診断書が必要となります。)また、欠席手続きは速やかに行ってください。

医療機関の診察を受けずに欠席した場合には、学生手帳記載の「所定以外の欠席届見本」を参考に手続きをしてください。また、インフルエンザ、感染性胃腸炎、ノロウイルス感染等による場合には「感染症治療 登校許可証明書」に診察した医療機関の証明を受けて提出する必要があります。「感染症治療 登校許可証明書」の用紙は各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)で受け取るか、大学ホームページ(【在学生・保護者の方へ】→【授業・試験・成績】)からダウンロードしてください。

Q：公共交通機関の遅延によって、授業に遅れてしまいました。どうしたら良いのでしょうか？

A：公共交通機関の発行する「遅延証明」等を持参し、各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。(運休の場合には「運休証明」等を持参してください。)

天気予報等により積雪等が予想されている場合は、早めに通学の準備をすることに努めてください。
※欠席届は俗にいう「公欠」(公認欠席)の取扱いではありません。指定の欠席届を受け取った教員により様々
です。つまり担当教員の裁量によるものです。

Q：大型台風が宮城県接近の予報がありますが、授業は通常のとおり実施されるのでしょうか？

A：天気予報等による宮城県付近の台風通過が予報され、大多数の学生に影響がでることが予測される場合、前日の午後7時までに翌日の2校時までの休講について決定し、翌日の3校時以降の休講については、当日の午前10時までに決定し、連絡(報道機関、大学ホームページ、My TG 等を利用)をすることとしています。

Q：manabaについて教えてください。

A：本学で2017(平成29)年度から全学部導入を開始した教育・学習支援システムであり、インターネットが利用できるパソコンやタブレット端末、スマートフォンからいつでも、どこからでもアクセスできるものです。

Q：manabaって何をやるものですか？

A：様々なツールがあり、代表的な利用は以下の4点です。

- ① 小テストや反復学習用のドリルとして利用ができます。
- ② プロジェクト学習の際、チームを作成し、チーム毎にディスカッションやレポート提出をすることができます。
- ③ 授業科目毎に担当教員からの教材を事前に受け取り予習・復習に活用することができます。
- ④ r e s p o n (レスポンス)アプリを利用して教室内での出席登録やアンケート提出に利用します。

※従来型携帯電話(フィーチャーフォン)での利用にはかなりの制限があります。スマートフォンもしくはタブレット端末の携帯を推奨します。

**履修計画(単位の集計)を見誤っている事例が毎年発生しています。
【MyTG】で公開される「履修登録科目確認通知書」または「成績通知書」
は都度必ず確認してください。**